

Key Person

個人主義を掲げつつも 並々ならぬ団結力で邁進する

「ルールに拘束されるのではなく、
自分の判断で最良の仕事をしてほしい」

『イーコンプライアンス』では、高い専門能力を身に付けた女性スタッフが少数精鋭で活躍している。同社を率いる村山社長は、長年外資系の企業で経験を積んできた人物で、入社・退社のたびにタイムカードを記録する日本企業の習慣に馴染みがなかったという。そのため、同社でも、タイムカード制は導入していない。各スタッフが自己責任で適切な時間に出勤し、夕方になって仕事の目途がつけば自然に退社するのだそうだ。

「あえてルールを作らなくても、自分の判断で責任を持って動いてほしいと思います」と語る社長。海外経験の豊富なスタッフが揃う同社ならではの特徴だ。また個人主義を基本としつつもスタッフ同士の仲が良く、社長の理想とする社風が確立されている。

これまでの日本企業にはない柔軟な姿勢で前進を続ける同社は、今後とも業界に新風を吹き込んでいくことだろう。

(対談記事は50～51頁に掲載)



「結婚して子どもがいる女性も
気兼ねなく働ける会社を目指しました」

Top
Interview

■新薬開発に伴うコンピュータ導入の
コンサルティングを行う『イーコンプラ
イアンス』。女性スタッフが活躍する同
社を、女優の吉沢京子さんが訪問した。

 株式会社
イーコンプライアンス

【本 社】

大阪府大阪市中央区北浜東6-6 アクアタワー7階
TEL 06-6940-3970 FAX 06-6940-3971

【東京事務所】

東京都中央区新富1-13-26 新富TTビル4階オフィスミレニアム内
TEL 03-6222-0980 FAX 03-6222-0977

E-mail:support@eCompliance.co.jp

URL:http://www.eCompliance.co.jp



代表取締役 村山 浩一

吉沢 まずは社長の歩みから伺います。
ご出身はどちらですか？

村山 大阪です。神戸にある大学を卒業
し、プログラマーとしてコンピュータ会
社に就職しました。現在、当社の取締役
を務めてくれている妻とは、こちらの会
社での同期だったのですよ。13年ほど
勤め、その後別の大手コンピュータ会社
を経て当社を設立し、コンサルティング
業務に携わってきました。

吉沢 どういった分野のコンサルティン
グでしょう。

村山 主に日本の製薬会社を対象に、新
薬開発に伴うコンピュータ導入のコン

サルティングを行っています。製薬会社
は新薬開発に際して動物実験や臨床試験
を行います。そのデータに不正やねつ
造、コンピュータの操作ミスによる誤
りがあるは大変。にもかかわらず、最
近、実験データがコンピュータ上に正し
く反映されていないという問題が生じ
てきているのです。つまり製薬会社は、
コンピュータを駆使して業務の効率化を
図らなければならないにもかかわらず、
そこには必ず操作ミスといったリスクが
生じることになる。こういった問題につ
いて、アメリカでは、日本の厚生労働省に
当たるFDA（米国食品医薬品局）が厳

しく規制してしましてね。その規制要
件を翻訳し、実施のノウハウを日本の
製薬会社さんへお伝えしていくのが当
社の主義務です。

吉沢 こうしたコンサルティングの受
け入れは、日本の製薬業界で浸透して
いるのですか？

村山 これからどんどん浸透してく
ると思います。元々アメリカで確立され
てきたノウハウであって、日本では取
り残されていた分野。とはいえ、よう
やく日本でも同様の規制が徹底される
ようになってきましたので、今後注目
を集めていくことでしよう。

吉沢 人の命と健康を守る、最先端の
仕事なのですね。オフィス内を拝見し
て感じたのですが、御社のスタッフに
は女性の方が多いのですか？

村山 実は、私以外のスタッフ全員が
女性なのです。これは、当社を立ち
上げた経緯に関係するのですが。

吉沢 と言いますと？

村山 私と妻は知り合ってから1年半で
結婚し、すぐに子どもを授かって妻は
子育てに力を注ぐようになりました。
しかし、大学まで卒業して勉学を修め
ていながら、家庭に入って子育てに専
念するのは惜しいでしょう。そんな折、



同社を支える木原さんをお迎え、ゲストインタビュアーの吉沢京子さんと共に記念撮影

高い専門能力を持つスタッフが 新薬開発を力強くサポート

貿易関係の事業を興した知人が妻に仕事を頼めないかと打診してきました。妻は英語が堪能ですので力になれると考え、在宅としてお受けしました。そこで、妻のように自宅で子育てなどに取り組みながら仕事も引き受けられれば、もっと多くの女性が活躍できるのではないかと考えたのです。

また、布団屋を経営していた私の両親はずっと2人で仕事をしていました。その背中を見て育った私も、夫婦揃って無理なく同じ仕事に取り組めることは素晴らしいと思い、退職して2年前に当社を立ち上げたのです。

吉沢 女性の社会進出が顕著になった今日にぴったりの発想ですね！ 実際の業務はどういった流れになるのでしょうか。

村山 まずは事務所で仕事のやり方を指導し、後は自宅で業務を進めてもらうというスタイルですね。業務の性質上、事務所に詰めてもらうスタッフもいますが、翻訳担当のスタッフは在宅です。そもそもコンサルティングは、パソコンや携帯電話さえあればどんな場所でも進められるシンプルな仕事。製品を運ぶような力強さでもありませんから、性別に関係なく取り組むことができるのですよ。むしろ、細かい気配りをしてくれる女性の方が向いていると言えるのかもしれません。

吉沢 なるほど。しかし、男性である社長が女性ばかりのスタッフと向かい合っていくのは大変でしょう。

村山 その点については、会社の立ち上げ当初から支えてくれている木原に任せています。彼女はニューヨークの大学を卒業していますので、もちろん英語は堪能ですし、スタッフのまとめ役にぴったりなのです。

木原 一般的に、女性は男性とは違ったモチベーションを持って働いていますし、競争からではなく褒められることで伸びていくもの。その辺りを意識しつつ、感情的にならないようにしてスタッフと接しています。

吉沢 この仕事をする上で重要なポイントは何か？

村山 コミュニケーション能力ですね。

基本的なことですが、分からないことはきちんと質問し、相手が言いたいことを汲み取ることができなければ業務は成り立ちません。また、英語で書かれた規制要件を日本の会社に伝えていく仕事ですから、英会話能力も必須。そして製薬業界やIT関連の知識を身に付けて初めて一人前となります。

吉沢 なかなか厳しい条件ですが、逆に言えば御社のスタッフはそれだけ優秀な方ばかり、ということになりますね。最

後に、今後の展望についてお願いします。
村山 あまり大それた展開をせず、安定した経営を続けたいですね。スタッフには当社で長く働いてもらえればと思っていますが、私自身は会社に執着するつもりはないのですよ。あと10年ほどで一線から退いて、気ままな生活を楽しみたいと考えています(笑)。

吉沢 将来の夢に向かって頑張ってくださいね。本日は、ありがとうございます。
(2006年5月取材)

吉沢 京子 (女優)

非常に専門的なコンサルティング業務を展開されている「イーコンプライアンス」さん。「子育てなどで家庭に入り、能力を活かせないでいる女性に活躍してほしい」と考える社長が、その理想を実現するべく立ち上げられた会社です。こうした新しい事業スタイルは、キャリアと育児の両立に悩む女性を勇気づけ、御社のみならず日本経済全体の発展へとつながっていくことでしょう。今後ますますのご活躍をお祈りしています。



社名とロゴマークに込められた志

▼製薬会社の新薬開発に伴う、コンピュータ導入のコンサルティングを手掛ける「イーコンプライアンス」。実験データの正確さを維持するために、FDA(米国食品医薬品局)が整備した規制要件を翻訳し、日本の製薬会社に提供している。

▼同社を率いる村山社長の、「結婚して子育てをしている女性も、能力を活かして社会で活躍してほしい」という思いが立ち上げを実現したのだという。その言葉通り、優秀な女性スタッフの力を得て、総勢20名以下という小規模ながら、他社にはない最先端のコンサルティングを行ってきた。

▼同社の社名は、英語で表記すると「e-Compliance」。世界を駆け巡る電子という意味の「e」と、法令遵守を表す

「Compliance」を合わせているのだという。そしてそんな同社のロゴは、設立を共に行った木原さんが考案したもの。地球儀をモチーフにしたデザインとなっていて、同社のグローバルな展開を的確に表現している。今後も、この社名やロゴマークにふさわしい発展ぶりを見せてくれることだろう。

